

## 塘研究室現地調査報告 6

10月30日に裏磐梯にて現地調査を実施しました（今回は調査というよりもロガー設置）。内容は裏磐梯で発見された大型ヒメシロカゲロウ属の一種の生活史調査の一環として、裏磐梯の生息地の一つと、土湯で発見された生息地（照南湖）の2ヶ所の池沼に連続水温測定用データロガーを設置することです。調査者はヒメシロカゲロウ類の研究をしている大学院生と教員1名でした。

ロガーは1時間に1回水温を測定するように設定し、針金を付けて池の中に投げ込んで来ました（針金は池沼付近の木の幹に巻き付けました）。ロガーを設置した裏磐梯の池沼では水生生物調査も実施し、環境省 RL 掲載種のモノアラガイやミズスマシ、オオミズスマシが分布する一方で、外来種のフロリダミズヨコエビも大量に生息していることを確認しました。その他、フタバカゲロウ、アマゴイルリトンボ、イトトンボの仲間、ルリボシヤンマの仲間、コサナエ、ヒメミズカマキリ、マツモムシ、ヒラマキミズマイマイ、オオタニシなどが見られました。

この日は高貝研究室が五色沼湖沼群の水の色の発色に関する調査のための採水を実施しましたが、ロガー設置前にその調査のお手伝い（採水場所の案内役）をしました。採水調査の詳細は高貝研が報告してくれると思います。五色沼での採水は3班に分かれて実施されましたが、私たちはもうせん沼、弥六沼、石倉沼で採水する班（高貝研の大学院生と4年生1名ずつ）を案内しました。ついでにそれぞれの池沼の水生生確認も実施し、もうせん沼ではフタバカゲロウ、ルリボシヤンマの仲間、オオコオイムシ、ホソカの仲間、弥六沼ではコバントビケラの仲間やエグリトビケラの仲間、石倉沼ではクロズマメゲンゴロウの生息を確認しました。石倉沼にも外来種のフロリダミズヨコエビが大量に生息していました。お昼頃から1時間ほど、どしゃ降りになりましたが、幸いなことに採水もロガー設置も雨に降られることなく無事に終わることができました。



連続水温測定用ロガーを設置した裏磐梯の池沼



土湯付近の池（照南湖）にロガー設置中



弥六沼にて採水中（高貝研究室の4年生）



石倉沼にて採水中（同大学院生）